

令和7年度 学校評価報告書

学校名	三田市立小野小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

心豊かに たくましく 自ら学び 人とつながる 小野っ子の育成

2 今年度の学校重点目標

- ◎気持ちのよい挨拶と返事ができる子
- ◎相手の気持ちを考えて行動できる子
- ◎心を込めて掃除ができる子

3 総合的な自己評価

教育課程については各行事の見直し、授業時数の適正化を進めた。学習指導についてはフリートークで子どもたちが主体的に取り組む学習の研究を進めていくことができた。目指す児童像を具体的に「履き物をそろえる」「清掃をする」「5分前行動」等の指導と評価、気になる児童について全職員で情報を共有し、見守る体制づくりも進めている。今後も、本校の教育活動について更なる情報を発信し、保護者、地域との連携を深め、特色ある学校づくりを目指す。

4 総合的な学校関係者評価

児童数、家庭数の減少とともに学校、家庭、地域の更なる連携の強化が望まれる。そのために学校は学校だよりや HP 等を活用して積極的に情報発信し、自校の教育活動に理解を得、児童や保護者アンケートから見えてくる学校の課題を学校運営委員会の場で共有し、いただいた意見をもとに取り組みを進めていきたい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程 ・ 学習指導	学校行事の内容及び授業時数を適正化する。	各行事の内容を見直し、スリム化を進めた。高学年を基準に行事時間、余剰時間の数値目標を設定、検証し、総授業時数の適正化を進めることができた。	授業時数は、積極的かつ柔軟な削減を検討していく。運動会、音楽会の時期、4月の時程や余剰授業時数の調整など、児童や職員になるべく負担のないように調整する。	余剰時間の適正化を意識した授業時間や行事の見直しを引き続き行い、児童や職員の負担軽減に努める。
	フリートークを授業に位置づけ、主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できる子の育成を実現する。	子どもたちの主体的な学びを目指し、フリートークを進める国語学習、算数でもフリートークを位置づけたガイド学習の研究を進めることができた。	さらにフリートークの研究を進める。ガイド学習やフリートークの学習について職員の研修を計画的に進めていく。	フリートークを授業に位置づけ、発達段階に応じた体験の積み重ねを大切にしていける。また保幼小中の円滑な連携を意識した学習指導の推進をすすめる。
生活指導	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、児童一人ひとりと心の触れ合いを大切に指導をする。	生活アンケートの実施、気になる児童について職員会等で情報の共有、複数の教員で見守る体制ができています。	いじめの未然防止、早期発見のためにいろんな側面や活動から子どもたちの行動や言動を観察し、迅速に対応できる体制を、今後も整えていく。	全国的に SNS を通してトラブルに巻き込まれる事案が多くある。ルールづくりやフィルタリングの活用等各家庭での対策が必要である。すべての児童が学校に行くことが楽しい、いつでも先生や大人に相談できる学校環境作りにも努めてもらいたい。
	自分たちの生活をより良くしようと意欲的に取り組むための指導を行う。(あいさつ、掃除、はき物を揃える等)	昼休み終了5分前に掃除に取りかかることが定着している。「履き物をそろえる」「清掃をする」「5分前行動」等の指導と評価が継続されている。	「あいさつをする」「廊下を歩く」等の指導の継続が必要。職員が手本となり、できたことを褒めて励ます指導を。	
教育目標 ・ 学校評価	教師間で教育目標を充分に共通理解し、積極的な教育活動を展開する中で、その具現化を目指す。	4月の学級開きで子どもたちと学校目標、学級目標について話し合ったり、学級集会で保護者にも伝えたりして、意識を高めることができた。	今後も職員間で学校目標の共通理解を図り、目指す児童像や学級目標を示して、教育活動を展開する。	挨拶には課題が残るが時間を意識した早めの行動は定着しつつある。学年に応じた目標を設定し、良い習慣を身に付けてもらいたい。
	めざす児童像を具体的にイメージし、それに近づけるように取り組み、評価を進める。	目指す児童像を重点目標に掲げ、「あいさつ」「掃除」「はき物を揃える」などの具体的な取組ができています。	今後も目指す児童像を具体的に示し、生活目標や生活アンケート、学校評価等で、取り組みと評価を重ねていく。	
保護者、地域との連携	学校からの情報発信を積極的に行う。家庭、地域の意見等を踏まえ、具体的に対応する。	学校だより、学級通信、学校メール等で積極的に情報を発信し、保護者、地域との連携に努めた。	学校HPや「学びポケット」を活用し、本校の教育活動について、より広く情報を発信していく。	地域行事の保護者の参加が少ないことが地域の課題である。学校は更に積極的に情報発信を行い円滑な地域との連携に繋げていく。PTA と地域との連携の強化を図る工夫を考えていく必要がある。(学校・地域合同の防災訓練等)
	学校だより、学級通信、懇談、家庭訪問等を通じて、家庭との連携を密にする。	授業参観や学級集会、家庭訪問、個人懇談等を年間を通して位置づけ、定期的に保護者との連携を図る機会を設けるなど、計画的に進めることができた。	保護者の参加行事、地域人材の活用等を計画的に進め、保護者、地域の方々との連携をさらに深める。	

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
4月	学校評価計画作成、提案
7月	児童・保護者アンケート実施
9月	児童・保護者アンケート分析、まとめ
12月	児童・保護者アンケート実施 職員アンケート実施
1月	児童・保護者アンケート分析、まとめ 職員アンケート分析、まとめ
2月	学校評価(職員会議)実施
3月	学校評価報告作成

7 学校関係者評価委員会の活動について

時 期	内 容
6月5日	オープンスクール視察
7月16日	第1回学校運営協議会(重点目標・年間計画・活動内容説明)
9月27日	運動会視察と意見交流
10月25日	音楽会鑑賞と意見交流
12月17日	第2回学校運営協議会(活動内容報告、児童・保護者アンケート考察)
2月27日	授業参観
3月12日	第3回学校運営協議会(次年度学校行事、全国学力調査考察)

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
4月	学校ホームページ	学校評価計画書の公表	
9月	学校便り(保護者配布)	児童・保護者アンケートの結果を分析し、まとめたものを配布	○
1月	学校便り(保護者配布)	児童・保護者アンケートの結果を分析し、まとめたものを配布	○
3月	学校ホームページ	学校評価報告書の公表	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います